

## 宇治川堤の風情

伏見支所 古藪 三郎



私の家は、府道、淀・宇治線に面しているのであるが、すぐ先に淀大橋が架かっていて、その傍らの堤防に、大阪湾から39.0kmと記された、国土交通省の大きな標識が立っている。

堤防は、かなり高く盛土をして構築されているので、せせこましさがみじんもなく、お盆の縁のように京都盆地を取り巻く山々のすべてと、その外周を形成するかのように続く、南山城や生駒山系、北摂の山系までもが望見できる。いずれの山並みも緩やかな弧を描いているので、心が和む。

淀大橋とその東方に見える宇治、醍醐方面に続く山との間は、いまでは姿を消した周囲4km、巨椋池の名残りで、耕地が広がり、眺望を遮る物が無いので、



夜明けの宇治川

大橋の上から見る日の出は美しい。特に大気に潤いの多い梅雨の晴れ間などは、とりわけ鮮麗である。

薄墨を流したような東の稜線の肩が、ほのかに明るくなつたと思うと、空は少しずつ鮮紅色に染まり始め、赤味を帯びた紫色の雲が長く棚引き、時々刻々、光と色とが織り成して、天空一面に神秘的な極彩色が展開されるときがある。単に美しい風景ではなく、あまりにも荘厳で思わず両手を合わせる。

宇治川の流れに情趣を添えるものは葦である。水ぬ

るむころ、まだ茶色に枯れている葦のまばらな透き間には、早春の日差しを受け、さざ波をきらきらさせて流れいくのが見えて、日本画の世界が広がる。葦の茂みのあちこちで、ち、ち、と小鳥の声が動いている。ウグイスが茂みから茂みへと移動しているようで、遠く

で、近くで鳴き声がする。一際、甲高いのはキジ、かなり進むと、子ギツネが不思議そうに私を見つめる、無心とはこのことか。都心から一小時間、京都市南端の淀はまだ自然の景観を楽しめる。

## 私の残したい風景

### インターナショナル 「千本鳥居」

伏見支所 高濱 滋樹



お稻荷さんは東山36峰の最南端の稻荷山山麓にあります。健康のため「お山めぐり」に励んでいます。スタートは「朱（あけ）色の千本鳥居」です。石畳の通路に鳥居が立ち並んで長いトンネルになっています。

ここはインターナショナルな雰囲気で溢れています。



復路で見た千本鳥居

日本の青年諸君、韓国、中国、アメリカなど海外からの人たちが、賑やかにデジカメや携帯カメラでの撮影を楽しんでいます。嬉しいことに日常生活ではご縁のない彼らが私に日本語で話しかけてくれることもあります。世の中は変わりました。

古代の中国や朝鮮半島では朱塗りの文化が発達していて、日本へ渡來した「秦」氏が稻荷深草を開拓し、朱の信仰による社を建てたそうです。千本鳥居の国際的な雰囲気もむべなるかなと思います。



「山上・一の峰」

案内には奈良時代の和銅4年（711）初午の日にご鎮座とあります。千年の都人から見たら文化の要ではなく、癒しの地であると思われる事跡が多々あります。初午の稻荷山詣でと『枕草子』『今昔物語』、深草の少将と小野小町などなど。

けれども年中祭事が多く（数えたら27回）参拝者はお正月だけで百万人とか、さすが商売の神様です。社域は稻荷山と周辺の深草の里を含めて約27万坪と広大です。『残したい風景』は数え切れません。



## き こく てい 『枳殻邸』

下京支所 香川 恽子

わが町下京を思い描くとき、頭に浮かぶ風景のひとつといえば、私は上珠数屋町通から下珠数屋町通にかけて河原町通の西側にある土塀を挙げます。河原町七条から北行してくると、よくスピード違反の取締りをしているところと言えば場所がお分かりいただけるかもしれません。

この土塀は渉成園という東本願寺さんの別邸（飛地境内地）のものです。地元の人はここを渉成園と正式名称で呼ばず、枳殻邸と通称で呼ん



でいます。（京都の人はよく東本願寺さんとか西本願寺さんとか、お寺や何かの名前のあとに“さん”づけしますが、ここは“さん”づけされたのを聞いたことがありません）世界遺産にまでも落書きがされたり、いたずらされたりしている今日には珍しく、この土塀には落書きなどもあまりないようです。

中を訪ねてみると、建築物はすべて内部非公開となっており、庭園だけを参観することができます。建築物に入れませんので少し回り道をして、



迷路のようなお庭の道を進むと、南北の大島を配した印月池という大きな池があります。池のほとりには煎茶三席の酒店として用いられていたらしい漱枕居という建物がありますが、小学生の頃写生大会でこの漱枕居の横に座って池を描いたなあと、忘れていた記憶が甦りました。この印月池には遣水もあり、そこで鴨の親子が水を飲む姿は河原町から数メートルに位置しているとは思えないものでした。

まだ知られざるスポットなのでしょうか。GWの真っ只中にも関わらず、訪れていた人は数人でした。間違いなく街中を忘れさせてくれる静かな時間が持てますので、ぜひ一度枳殻邸を訪ねてみてください。



## 『JR二条駅近辺』

中京支所 吉澤 春子

JR山陰線の沿線で永年暮らしていますので、二条駅近辺はなじみの深い場所です。二条駅は、京都駅から山陰線で二つ目の駅です。以前の駅周辺は材木商の倉庫や店舗が多く、明治37年に建てられた社寺風木造建築の駅舎と調和し、落ち着いた町並みを形成していました。山陰線（二条～花園）の立体交差化工事に伴い、旧駅舎は梅小路蒸気機関車館へ移築され、高架上のモダンな新駅舎（平成8年完成）に変わって後、駅前も再開発され、映画館や立命館大学の大学院ができる等、すっかりおしゃれな町に変身しました。京都駅から約10分、地下鉄の東西線にも接続し、



交通の便が良く、アフターファイブの映画鑑賞はおすすめです。駅前広場に円山公園の枝垂れ桜の孫桜が植えられています。当初は幼木でしたが年々枝葉を

伸ばし、毎年綺麗な花をつけるようになりました。駅前の千本通（朱雀大路）を北上すると、千本丸太町近くに平安京の大極殿跡があります。平安京の大伽藍が建っていたことが、発掘調査により明らかにされています。今は石碑があるのみですが、周辺には平安京縁の町名（例えば左馬寮町・右馬寮町等）が残っています。また、駅前の中京中学校は、江戸時代の京都西町奉行所跡。駅正面の御池通を東に行った神泉苑は、平安京造営と同時に作られた広大な苑池の一部で、天皇



や貴族の遊宴が行われ、祈雨の神事が行われた場所とも伝えられています。また、程近い二条城は世界文化遺産に登録され、世界に誇れる名所ですが、この二条城と縁が深い二

条陣屋（大宮通御池下る）は、隠れた観光スポットかも知れません。二条城や京都所司代（元侍賢小学校所在）に伺う京に屋敷を持たない大名が、宿舎とした数奇屋造りの建物で、能観賞の間や釣り階段、武者隠し、抜け道等いろいろの仕掛けが面白く、一見の価値あります。二条駅近辺は、普段何気なく通っている所ですが、古都の長い歴史を再認識できる所だと思います。

いしべ

# 石塀小路さくら

上京支所 北條 達人



祇園の八坂神社の少し南側、高台寺のあるねねの道と下河原通の間に趣深い石塀小路がひっそりと通じています。知る人ぞ知るお店が並ぶその路地に入ると、「石塀小路さくら」のあんどんが目に入ります。伝統ある石塀会の取り決めにのっとって、店名はモノトーン表示、メニューは表に出ていません。お店に入ると、敷居の高そうな外見とは似つかわしくない程、人なつっこい店主の挨拶が響きます。

この店は、嵐山で同じく「さくら」というお店を20年以上構えていらっしゃる店主の新井さんが、8年ほ



ど前から石塀小路に出されたお店です。お料理は京料理をベースにした創作和食で、大変美味です。ダシはすべて松尾の地下名水を使い、食材は錦市場で京都の名品を調達しています。ただ、そんなうんちくは必要が無

いほど、優しく居心地のいい空間が広がる本当に魅力的なお店です。

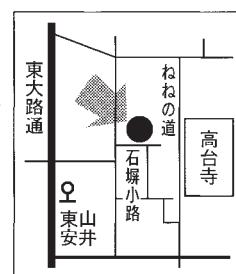
スタッフ全員の心配りは格別です。大切な方をお連れしても、友人同士で語りに行っても、いつでも最高の時間を過ごせます。さりげない極上の配慮は、この店の真骨頂と言えるでしょう。良心的な料金は、一万円以下の金額で最高のパフォーマンスを提供し、お客様に本当に喜んでもらいたいという、新井さんの心意気があらわれたものになっています。はじめての方にも本当に嬉しく気持ちのいいお店です。

カウンターで小気味良い新井さんのお話を聞きながら過ごすと、ついつい時間が経つのを忘れてしまいます。二階のお座敷は、ちょっとした集まりの時にとても重宝します。いつでも安心して特別の時間が味わえる、とっておきのお店です。

京都市東山区八坂神社南門下ル石塀小路

TEL 075-541-1522

営業時間17:00~22:30 日曜日定休



# み 味処巳さい

上京支所 松村 一郎



今回私がご紹介するお店は山科区大宅にございます。伝統京料理を提供するお店「巳さい」です。ごく普通の住宅街にあり、店構えはまさに住居ですが、長年祇園の有名割烹で厳しい修行を積まれた大将が平成7年に独立開業されたお店です。全く広告宣伝もされていないのですが、満席のことが多いため必ず予約を入れてから行かれることをお勧めします。大将と女将さんのふたりできりもりするちいさなお店でカウンターのみ8席程度です。まさに口の肥えた食通が通う店で伏見支部のT先生にもお店でばったりとお会いした経験もありますし、他にも知人と偶然遭遇し顔を見合させて驚いた事も何度かございます。

お料理は季節の旬の食材をメインにした献立で一品一品に大将の食材へのこだわりを強く感じます。おまかせにてお料理をいただくと大将がお客様のお箸の進み具合を見ながらお料理を造られ、



# シリーズ とてねぎのね店

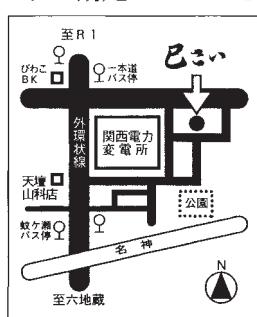
ここでは組合員先生方にお薦めのお店をご紹介いただきます。

お品書きより単品注文することもできます。とても気のいい大将で他のお客様が注文した食材が少しあった場合、お裾分けに小鉢に盛ってくださる事もありました。家庭では決して味わう事のできない味と品数です。日本酒も焼酎も品揃えが豊富でお酒の好きな私はおかげだけで満腹になり、帰り際にはいつも炊き込みご飯を折り詰めにして持って帰らせて頂きますが、やはりプロの料理人の作った品は次の朝冷たくなっていても大変おいしく頂けます。料金もリーズナブルですし、同じ料理を祇園町にて頂くと目を剥くような勘定になるだろうなと思いながら少し得をした気持ちで帰路についています。

営業時間は6時から12時で定休日は火曜日です。支部対抗ソフトボールの後、ちょっと一杯いかがでしょうか？

京都市山科区大宅関生町20  
TEL 075-594-0853

先付から始まり最後はご飯まで贅沢なお料理を品数豊富にいただくことができます。また、



**シリーズ =路線バスの終点へ=**

## 右京区京北灰屋

編集委員長 有田 行雄

「編集長が…」で始まるこのシリーズも回を重ねて6回目になりました。命令しているだけではお気楽過ぎると編集委員の皆さんから駄目出しをされたので、「順番が回って来たときには」と温存しておいたコースに行くことにしました。

そのコースとは、JRバスで京都駅から福王寺を経て終点京北周山まで行き下車し、そこから、京北ふるさとバスに乗り換え灰屋まで行くというものです。

ただし、お断りをしておかないといけないことがあります。それは、京都駅～周山間は1日に何本もバスが出ていますが、周山～灰屋間は日曜祝日には8時台と5時台に1往復ずつしかないです。そのため4月29日(日)に行った今回の取材では、周山から灰屋までの約16キロは、得意のランニングにしました。練習との一石二鳥を狙ったわけです。

京北ふるさとバスは、京北町が京都市と合併したときに町営バスが財団法人となったもので、灰屋行きのほかにも数ヶ所系統があります。その中から私が灰屋を選んだのはこの場所に思い出があるからです。

バブル期華やかな頃、私の友人がこの灰屋近くにログハウスを持っていて、私の家族も招待されよくここまで遊びに来していました。灰屋川で遊んだり、バーベキューをしたり、ほんとに楽しかった。その後、その友人はこのログハウスを売却したので、灰屋へ行くこともなくなりました。「あれから10数年あのログハウスはどうなっているのでしょうか?探偵さん調べに行ってください」と探偵ナイトスクープに依頼したいぐらいの場所だったのです。

さて、JRバスの終点周山に着くと、数台の京北ふるさとバスも並んでいて、まず証拠の写真を一枚撮ってから走り出しました。



3キロほど走ると山国神社です。ここは時代祭りでおなじみの「ピーハーラドンドンドン」の官軍山国隊が明治維新のとき出陣の誓いをした場所なのですが、国道477号線から少し外れているため今回初めて寄ってみました。なかなか厳かな雰囲気のある所です。

ここから5キロ行くと、この辺りでは一番有名な桜

の名所常照皇寺に着きます。まだまだ余裕のランニングです。桜はちょうど1週間前が見ごろで人出も最高だったらしく、ちょっと残念。でも、十分綺麗でした。ここで小休止、昼食です。「無事」を家族に知らせようとしたのですが、もうケータイにアンテナは立っていません。ということはここから先は連絡不能なわけで、文明の利器の限界と田舎暮らしの大変さに感じ入ってしまいました。

そして、ランニング再開。特に見るところもない田舎の国道を初夏ばかりの日差しを受けてひたすら走りました。フラットな道なのが救いですが、それでも



暑い!いいかげん嫌になってきたとき、国道と貴船へ向かう府道361号線の分岐点にやってきました。

右に折れ、登

り坂を感傷に浸る準備をしながら走っていると、懐かしのログハウスが現れました。人気は感じなかったのでゆっくりと眺めることができましたが、造作が増えているためか何か昔のイメージと違います。「ほんまにここやったかな?」映画のように回想シーンが頭



を過ることもなく、ちょっとがっかりでした。

さらに進んだゴール地点の灰屋はただバス停があるだけで、人っ子一人発見できません。静寂の中を思い出したように車が通過するだけです。ボートと座っていると、なんという奇跡!近所の方が通りかかりました。お陰で確かにたどり着いたという証拠写真を撮ってもらうことができました。

ここまで休憩時間を除くと約1時間40分で走破し、私のセンチメンタル取材ジャーニーは終わりました。しかし、この後がしんどかった。我が家に戻るために仕方なしというか予定通りというか、灰屋から芦生峠を越え貴船口までの10数キロの道をとぼとぼ走ったのですが、やっと着いて叡山電車に乗ったときには放心状態でした。



## 組合の動き

- 1・23 創立35周年記念事業実行委員会式典委員会開催  
2・1 学院・短期講座開講「贈与税と譲渡所得税の計算と実務」  
講師 谷口 薫先生 参加 88名  
2・2 保険小委員会【大同生命担当】開催（保有契約還元金支払いについて）  
2・5 学院・短期講座開講「所得税の計算と申告の実務」  
講師 竹仲 熱先生 参加 129名  
2・5 創立35周年記念事業実行委員会表彰委員会開催  
2・5 創立35周年記念事業実行委員会総括会議（各委員長・副委員長出席）開催  
2・6 保険委員会（大同生命担当）開催（平成18年度大同生命保有契約還元金計算方法について）  
【書面審議】  
2・8 中間監査実施  
2・14 正副理事長会開催（平成18年度大同生命保有契約還元金計算方法について）【書面審議】  
2・15 創立35周年記念事業実行委員会式典委員会開催  
2・15 諸問題検討特別委員会開催（協同組合における規約・規程・慣習のチェック及び見直しについて）  
2・20 総務委員会開催（組合員名簿の作成について）  
3・17~20 事務局職員慰安旅行実施  
3・23 事業小委員会開催（事業推進協議会について）  
3・23 諸問題検討特別委員会開催（協同組合における規約・規程・慣習のチェック及び見直しについて）  
3・26 正副理事長会開催  
3・26 常務理事会開催  
3・26 理事会開催  
3・26 相談役会開催  
3・30 創立35周年記念事業実行委員会広報委員会開催  
4・2 地区連絡委員会（旅行・ゴルフ世話人会）開催（平成18年度一泊旅行並びに大同生命ゴルフコンペについて）  
4・3 学院・短期講座開講 竣工3周年記念講演「租税回避行為をめぐる諸問題」  
講師 田中 治先生（大阪府立大学経済学部教授）  
参加 124名  
4・3~4 全国税理士共栄会事務委託組合事務局実務担当者協議会出席  
4・5 第38回大同生命ゴルフコンペ開催  
於 琵琶湖カントリー倶楽部 参加 91名  
4・7 正副理事長会開催  
4・9 保険小委員会（大同生命担当）開催（大同生命の新年度施策について）  
4・9 情報化に関する打合せ開催（各種団体の行事予定表等（ホームページ）について）  
4・9 法規・諸規則委員会開催（定款変更について）  
4・12 学院・職員研修講座開講「新入職員のためのマナー教室」  
講師 豊田賀津子氏（税理士法人総合経営 秘書）  
参加 21名  
4・12 保険委員会並びに大同生命との連絡協議会開催（次年度施策・代理店表彰旅行等について）  
4・13 創立35周年記念事業実行委員会総務委員会開催  
4・13 創立35周年記念事業実行委員会イベント委員会開催  
4・13 学院運営委員会開催（今後の学院運営について）

- 4・15~16 一泊旅行「上諏訪温泉」（長野県）  
参加 92名  
4・19 学院・職員研修講座開講「やさしい税金教室」  
講師 室谷澄男先生 参加 36名  
4・23 全国税理士共栄会業務推進委員・事業委託組合責任者連絡協議会・全税共地域文化賞贈呈式出席  
4・23 事業委員会及び事業推進協議会開催（事業推進協議会開催要領について）  
4・26 学院・職員研修講座開講「社会・労働保険の基礎知識」  
講師 高木和男先生 参加 55名  
5・7 東海税理士協同組合へ表敬訪問（税務便覧の販売促進）  
5・8 編集委員会開催（第117号の編集割付）  
5・9 常務理事会（臨時）  
5・9 理事会（臨時）  
5・10 学院・実務講座開講「法人税の基礎知識と計算の実務」・全10回（1回目）  
講師 日向明泰先生 参加 53名  
5・11 学院・簿記実務コース開講・全7回（1回目）  
講師 岩崎紀子先生  
参加 17名  
5・14 学院・中小企業経営者のための「相続対策基礎講座」開講（一般向け無料講座）  
講師 中村清之先生  
参加 20名  
5・16 正副理事長会開催  
5・16 大同生命優秀営業社員表彰式・祝賀パーティー開催  
於 リーガロイヤルホテル京都

全国税理士共栄会だより No.370  
(2007年2月号)

## 未来の安心 つくる全税共年金

一闇与先にもお奨めです

※資料請求  
お問合せは各生命保険会社へ。

- 手数料な掛け金
- ③10年保証定期金
- ②15年確定年金
- ①10年確定年金
- 取扱保険会社
- 第一生命 明治生命 富国生命

※一時金でもお取れます。  
払込口月払併用で、1口10万円で任意の口数。  
途中での増口も可能です。



自分でつくる豊かな老後  
月々1万円からと手軽です

### ホールインワン100万円保険

記念品代からケガの補償まで、幅広く対応

被保険の内容	賠償責任
ホールインワン費用	100万円
島賈責任	1億円
身体傷害	1,000万円
ゴルフ用品損害	32万円

保険料は月額割引  
30%

賠償責任は  
1億円の大型補償！  
年間12,000円で大きな補償  
(一般加入の保険料は約17,000円です)

お問い合わせ：お申し込み先／㈱全税共サービス 03(5740)8364

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zenzeikyo.com/